
俺と天使？【第三章】（１）

榛名屋 忍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と天使？【第三章】（１）

【Nコード】

N0640R

【作者名】

榛名屋 忍

【あらすじ】

「俺と天使？」の第三章。クールな中学生・渡会夏樹が人間不信になった要因がついに明かされる。

「ごめんなさい…ごめんなさい…」

「あはは。わかってくれたらいいんだよ。僕は君のことが”大好き”なんだからね」

今日もまた、俺はあの人に殴られている。あの子は母の恋人で、いつの頃からかこの部屋に住み着いた。昼間は仕事で母が居なくなる。俺とあの子は二人きりになる。

「夏樹くん、遊ぼうか」

「うん」

初めは普通に遊んでくれるのだとばかり思っていた。しかしあの子はヒーローごっこ途中に突然殴りかかってきたのだ。

「痛い！やめて！」

「やめてだって？遊んでやってるのにふざけたこと言いやがって！」

男は俺を壁に叩きつける。力の差は明らかで、抵抗しても無駄だった。

「夏樹くん、お兄さんは遊んであげてるんだから、言うこと聞かないや駄目だよ」

「ごめんなさい…」

謝ると男はニヤリと笑った。

「わかればいいんだよ」

夜中に母が帰ってきた。俺達は二人で何事もなかったかのように行儀よく座っていた。

「夏樹くん言うこと聞かないから殴っちゃった。ゴメンな」

「別に良いわよ。ちゃんとしつけてくれるんなら。私、子どもに興味ないの」

母には幻滅した。助けてなどくれないとわかったからだ。

母は遅い時間に帰ることが多かった。夜はどこに立ち寄っているのかわからない。次第に朝まで帰って来ない日が多くなった。

食事は自分で準備できていた。電気ポットのお湯を使えばカップめんが食べられるし、電子レンジを使えば冷凍食品が食べられる。それを教わっていたので困ることは少なかった。そんな生活にあの人が入り込んできた。あの人は食事を作ると言って結局は一人で食べてしまう。かろうじて残り物を食べられることもあったが、食事を抜くことは珍しくなくなった。

風呂だけは一人では入れなかった。あの人が風呂に入れてやると言ったときも疑いなく風呂場に向かったのだが、大きな間違いだった。

「いくつ数えられるかな」

そう言っただけの頭を湯船に押し付けたのだ。俺は危うく溺れかけた。しかし、母はそんなことには気づかない。

母は家に帰ってこなくなると、あの人は夜中まで俺に暴力を振るい続けるようになった。

「あいつ、他の男と会ってるに決まってる」

それは今思えば八つ当たりなのだが、俺にはよくわからなかった。時には逃げられないようにロープで結ばれて、俺は母の帰りを待った。

1ヶ月ぶりに母が帰ってきた日、あの人と母は寝室で言い争いをしていた。タバコの吸い殻が灰皿から溢れていた。

「夏樹、これ、水かけといって」

灰皿を指差して母が言う。俺は灰皿を持って寢室を出た。寢室の扉を閉めたとき、チャンスだと思った。

「もう嫌だ……」

限界だった。俺は灰皿を投げ出して着の身着のままアパートを飛び出した。そして出会ったのが一人の神父 - 来栖聖人だった。

明け方、警察で母が死んだと聞かされた。全焼した部屋に居たのは母だけで、あの人はどこかに消えてしまった。俺はあの人の名前を知らなかった。あの人の正体がわからないまま、俺は浩之さんに引き取られた。

（後書き）

小説ランキングに参加しています。お気に召しましたら、バナーのクリックをよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0640r/>

俺と天使？【第三章】（1）

2011年10月7日23時16分発行